

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公開番号】特開2017-64357(P2017-64357A)

【公開日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2015-215334(P2015-215334)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月30日(2018.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が操作可能な操作手段と、

その操作手段への操作内容を判別可能な操作判別手段と、

その操作判別手段により判別された前記操作内容が第 1 条件を満たした場合に、特定の演出を実行可能な特定演出実行手段と、を有する遊技機において、

前記操作判別手段は、前記第 1 条件を満たしている状態で前記第 1 条件とは異なる第 2 条件を満たす操作内容を判別可能であり、

前記特定演出実行手段は、前記操作内容が前記第 2 条件を満たしている場合に、前記特定の演出を第 1 期間毎に実行可能であり、

前記遊技機は、前記第 2 条件を満たしている状態で可変条件が成立した場合に、前記特定演出実行手段により実行される前記特定の演出の実行間隔を、前記第 1 期間とは異なる第 2 期間へと可変可能な期間可変手段を有することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、

その判別手段による判別の結果が特定判別結果である場合に、遊技者に特典を付与可能な特典付与手段と、を有し、

前記可変条件は、前記判別手段の判別結果に基づいて成立し得るものであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記操作判別手段により、前記第 2 条件を満たす操作内容であると判別されたことを報知可能な報知手段を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の遊技機。

【請求項 4】

前記操作手段の操作を有効に判別する有効期間を設定する有効期間設定手段と、

その有効期間設定手段により設定された有効期間の残期間を判別する残期間判別手段と、を有し、

前記可変条件は、前記残期間判別手段により判別された前記残期間が第 1 残期間である場合よりも、前記第 1 残期間よりも短い第 2 残期間である場合のほうが成立し易いものであることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0002  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0002】

パチンコ機等の遊技機において、操作手段（例えば、操作ボタン）を用いた操作演出が  
実行される遊技機が知られている（特許文献1）。

【手続補正3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0006  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、遊技者が操作可能な操作手段と、  
その操作手段への操作内容を判別可能な操作判別手段と、その操作判別手段により判別さ  
れた前記操作内容が第1条件を満たした場合に、特定の演出を実行可能な特定演出実行手  
段と、を有し、前記操作判別手段は、前記第1条件を満たしている状態で前記第1条件と  
は異なる第2条件を満たす操作内容を判別可能であり、前記特定演出実行手段は、前記操  
作内容が前記第2条件を満たしている場合に、前記特定の演出を第1期間毎に実行可能で  
あり、前記遊技機は、前記第2条件を満たしている状態で可変条件が成立した場合に、前  
記特定演出実行手段により実行される前記特定の演出の実行間隔を、前記第1期間とは異  
なる第2期間へと可変可能な期間可変手段を有する。

【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0007】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、判別条件の成立に基づいて  
判別を実行する判別手段と、その判別手段による判別の結果が特定判別結果である場合に  
、遊技者に特典を付与可能な特典付与手段と、を有し、前記可変条件は、前記判別手段の  
判別結果に基づいて成立し得るものである。

【手続補正5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0008  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0008】

請求項3記載の遊技機は、請求項1または2記載の遊技機において、前記操作判別手段  
により、前記第2条件を満たす操作内容であると判別されたことを報知可能な報知手段を  
有する。

【手続補正6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0009  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0009】

請求項4記載の遊技機は、請求項1から3のいずれかに記載の遊技機において、前記操  
作手段の操作を有効に判別する有効期間を設定する有効期間設定手段と、その有効期間設  
定手段により設定された有効期間の残期間を判別する残期間判別手段と、を有し、前記可

変条件は、前記残期間判別手段により判別された前記残期間が第１残期間である場合よりも、前記第１残期間よりも短い第２残期間である場合のほうが成立し易いものである。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

請求項１記載の遊技機によれば、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段への操作内容を判別可能な操作判別手段と、その操作判別手段により判別された前記操作内容が第１条件を満たした場合に、特定の演出を実行可能な特定演出実行手段と、を有し、前記操作判別手段は、前記第１条件を満たしている状態で前記第１条件とは異なる第２条件を満たす操作内容を判別可能であり、前記特定演出実行手段は、前記操作内容が前記第２条件を満たしている場合に、前記特定の演出を第１期間毎に実行可能であり、前記遊技機は、前記第２条件を満たしている状態で可変条件が成立した場合に、前記特定演出実行手段により実行される前記特定の演出の実行間隔を、前記第１期間とは異なる第２期間へと可変可能な期間可変手段を有する。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

これにより、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

請求項２記載の遊技機は、請求項１記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段による判別の結果が特定判別結果である場合に、遊技者に特典を付与可能な特典付与手段と、を有し、前記可変条件は、前記判別手段の判別結果に基づいて成立し得るものである。

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

これにより、遊技者が遊技に早期に飽きてしまうことを抑制することができるという効果がある。

【手続補正１２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項3記載の遊技機は、請求項1または2記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記操作判別手段により、前記第2条件を満たす操作内容であると判別されたことを報知可能な報知手段を有する。これにより、第2条件を満たした場合において、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項4記載の遊技機は、請求項1から3のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記操作手段の操作を有効に判別する有効期間を設定する有効期間設定手段と、その有効期間設定手段により設定された有効期間の残期間を判別する残期間判別手段と、を有し、前記可変条件は、前記残期間判別手段により判別された前記残期間が第1残期間である場合よりも、前記第1残期間よりも短い第2残期間である場合のほうが成立し易いものである。これにより、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】2969

【補正方法】変更

【補正の内容】

【2969】

遊技機A1からA8, B1からB9, C1からC9, D1からD12, E1からE6, F1からF16, G1からG11, H1からH10, J1からJ9, K1からK12, L1からL9, M1からM7, N1からN12, P1からP6およびQ1からQ17のいずれかにおいて、前記遊技機はパチンコ遊技機とスロットマシンとを融合させたものであることを特徴とする遊技機23。中でも、融合させた遊技機の基本構成としては、「複数の識別情報からなる識別情報列を動的表示した後に識別情報を確定表示する可変表示手段を備え、始動用操作手段（例えば操作レバー）の操作に起因して識別情報の変動が開始され、停止用操作手段（例えばストップボタン）の操作に起因して、或いは、所定時間経過することにより、識別情報の動的表示が停止され、その停止時の確定識別情報が特定識別情報であることを必要条件として、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備え、遊技媒体として球を使用すると共に、前記識別情報の動的表示の開始に際しては所定数の球を必要とし、特別遊技状態の発生に際しては多くの球が払い出されるように構成されている遊技機」となる。

<その他>

パチンコ機等の遊技機において、操作ボタンを用いた操作演出として、操作ボタンを所定期間押下することで、自動的に連打操作が実行される遊技機が知られている（特許文献１：特開２０１４－１８０３６４号公報）。

しかしながら、上述したパチンコ機において、更なる興趣の向上が求められていた。

本技術的思想は、上記例示した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上することを目的とする。

#### < 手段 >

この目的を達成するために技術的思想１の遊技機は、遊技者が操作可能な操作手段と、その操作手段が操作されたことに基づいて、信号を出力する信号出力手段と、その信号出力手段により出力される信号を判別する信号判別手段と、その信号判別手段による判別結果が第１条件を満たした場合に、特定の演出が実行される第１演出態様を設定する第１設定手段と、前記第１演出態様が設定されている状態で前記信号判別手段による判別結果が前記第１条件とは異なる第２条件を満たした場合に、前記特定の演出を第１期間毎に実行する特定演出実行手段と、前記第１演出態様が実行されている場合に、所定の可変条件の成立に基づいて、前記特定演出実行手段により実行される前記特定の演出における実行期間を前記第１期間とは異なる第２期間に可変して設定する期間可変設定手段と、を有するものである。

技術的思想２の遊技機は、技術的思想１記載の遊技機において、判別条件の成立に基づいて判別を実行する判別手段と、その判別手段による判別の結果が所定の判別結果である場合に、遊技者に特典を付与する特典付与手段と、を有し、前記判別手段の判別の結果に基づいて、所定の可変条件が成立するものである。

技術的思想３の遊技機は、技術的思想１または２記載の遊技機において、前記信号判別手段により前記第２条件を満たしていることを報知する報知手段を有するものである。

技術的思想４の遊技機は、技術的思想３記載の遊技機において、前記報知手段は、前記期間可変設定手段により設定される実行期間を案内するものである。

技術的思想５の遊技機は、技術的思想１から４のいずれかに記載の遊技機において、前記操作手段の操作を有効に判別する有効期間を設定する有効期間設定手段と、その有効期間設定手段により設定された有効期間の残期間を判別する残期間判別手段とを有し、前記信号判別手段は、前記操作手段が所定の第１判別期間の間継続して操作される場合に前記第２条件が成立したと判別するものであり、前記残期間判別手段により前記残期間が所定期間と判別された場合には、前記第１判別期間をその第１判別期間よりも短い第２判別期間に可変する判別期間可変手段を有するものである。

#### < 効果 >

技術的思想１記載の遊技機によれば、遊技者が操作可能な操作手段が操作されたことに基づいて、信号出力手段により信号が出力され、その出力される信号が信号判別手段により判別される。そして、その信号判別手段による判別結果が第１条件を満たした場合に、第１設定手段により特定の演出が実行される第１演出態様が設定され、第１演出態様が設定されている状態で信号判別手段による判別結果が前記第１条件とは異なる第２条件を満たした場合に、特定演出実行手段により特定の演出が第１期間毎に実行される。さらに、第１演出態様が実行されている場合に、所定の可変条件の成立に基づいて、期間可変設定手段により、特定演出実行手段により実行される特定の演出における実行期間が前記第１期間とは異なる第２期間に可変して設定される。

これにより、特定演出実行手段が実行されている状態で操作手段を用いた様々な演出を実行することができ、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

技術的思想２記載の遊技機は、技術的思想１記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、判別条件の成立に基づいて判別手段により判別が実行され、その判別の結果が所定の判別結果である場合に、特典付与手段により遊技者に特典が付与される。そして、所定の可変条件が判別手段の判別の結果に基づいて成立される。

これにより、特定演出実行手段により実行される特定の演出における実行期間により、判別手段の判別結果を把握することが可能となる。よって、遊技者の操作に基づいて実行

される特定の演出を注視することになり、遊技者が遊技に早期に飽きてしまうことを抑制することができるという効果がある。

技術的思想 3 記載の遊技機は、技術的思想 1 または 2 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、信号判別手段により第 2 条件を満たしていることが報知手段により報知されるため、遊技者が操作手段を操作し、第 2 条件を満たした場合において、特定の演出における実行期間が変更されたとしても、遊技者に違和感を与えることがないという効果がある。

技術的思想 4 記載の遊技機は、技術的思想 3 記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、報知手段により、期間可変設定手段により設定される実行期間が案内されるため、次に特定の演出が実行されるタイミングを遊技者に案内することが可能となる。よって、特定の演出における実行期間が変更されたとしても、遊技者に違和感を与えることがないという効果がある。

技術的思想 5 記載の遊技機は、技術的思想 1 から 4 のいずれかに記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、操作手段の操作を有効に判別する有効期間が有効期間設定手段により設定され、その有効期間の残期間が残期間判別手段により判別される。操作手段が所定の第 1 判別期間の間継続して操作される場合に第 2 条件が成立したと信号判別手段により判別され、残期間判別手段により残期間が所定期間と判別された場合には、判別期間可変手段により、第 1 判別期間がその第 1 判別期間よりも短い第 2 判別期間に可変される。

これにより、操作手段の操作が有効に判別される有効期間の残期間が所定期間となった場合に、第 2 期間に可変された特定の演出が実行されやすくすることができ、遊技の興趣を向上させることができるという効果がある。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】2970

【補正方法】変更

【補正の内容】

【2970】

10	パチンコ機（遊技機）
22	枠ボタン（操作手段）
113	音声ランプ制御装置（操作演出実行手段、演出実行手段、有効
期間設定手段）	
S216	判別手段
S217	特典付与手段
S4410	特定演出実行手段
S7034	残期間判別手段